おがつ いしのわ

雄勝いしのわプロジェクト

平成 25 年 12 月 13 日発行

No.3

～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり～

雄勝硯の生産環境調査と拠点整備計画助言

「GO SLOW CITY｜スローなまちでいこう」参加

雄勝硯生産販売協同組合インターンシップ

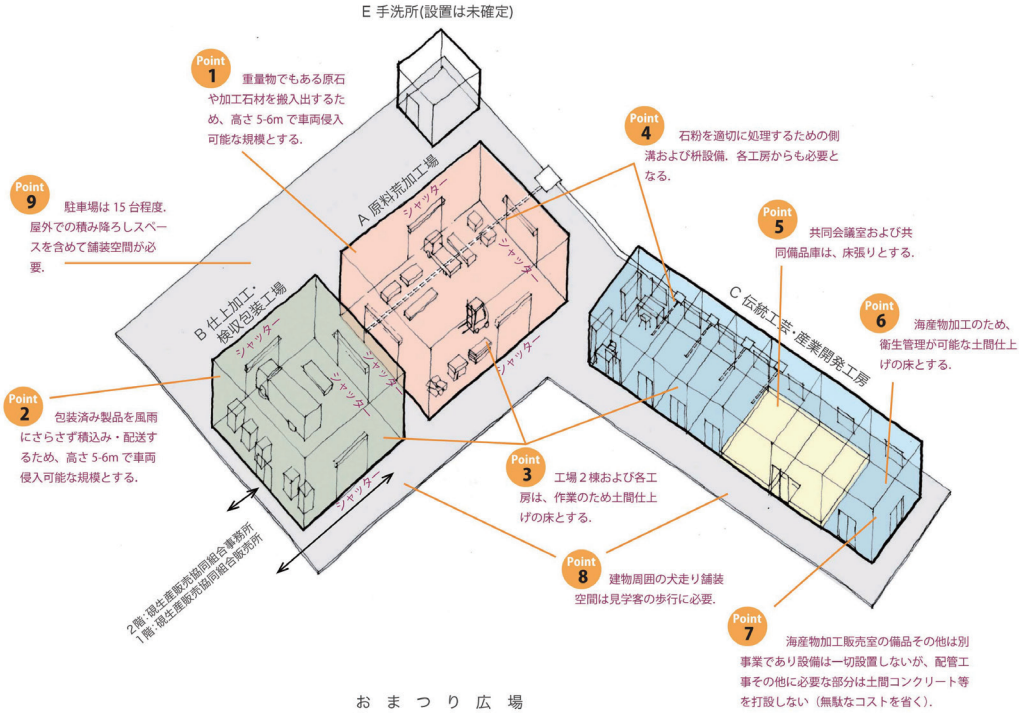
拠点開所セレモニー

三井物産環境基金助成団体交流会に参加

東北工大大学祭「MAKE」にて展示販売会

「GO SLOW CITY｜スローなまちでいこう」にて

雄勝硯の生産環境調査と拠点整備計画助言（工房・ゾーン割り）



被災前の雄勝では、規模の大小こそあれ、様々な硯店がありました。硯の生産販売においては、砕石、荒加工、そして工人による手工芸、輸入材を含む流通販売まで、重要な工程があります。このうち、全てを手がける店から得意分野を強化した店まで店ごとの違いがあり、それに応じた施設設備を有していたことが分かりました。それらを失った現在、復興に真に必要な施設設備を特定し、事業化に結びつけて行くことが重要です。現在は仮設工房のような生産環境にどのような環境整備が必要なのか検討を進めています。雄勝硯生産販売協同組合、雄勝総合支所と共に、組合の倉庫建設の助言を行い、的確なゾーニング等のサポートを実施しています。

仮設拠点銘板設置のセレモニー開催

8 月、本プロジェクトを推進するための活動拠点として、これまで、現地ボランティア活動等に使用されてきた仮設ハウス（石巻市所有）の一部に活動拠点を開設しました。拠点の開所記念式には、本学から藤井法人事務局長も同席されました。尚、本拠点は、本学のボランティア活動、仮設工房建設や他支援団体との打ち合わせなどに使用する予定です。

当日は、本プロジェクトの第 3 回実行委員会も行われ、主に「旧雄勝総合支所跡地に建設予定の仮設工房計画」、「おがついしのわプロジェクトの HP 作成」などを話しあいました。

雄勝硯生産販売協同組合インターンシップ（石磨き）

インターンシップとして 9 名の学生が雄勝地域に現地入りし、石磨きをはじめ雄勝石商品の製作や販売に関わりました。この活動に学生が参加することにより生産を支援したということ以上に、参加した学生がモノづくりの知恵と技、被災地（雄勝）の産業や文化を学ぶこととなりました。参加学生からは「モノづくりの難しさと技術向上の楽しさ」、「復興や地元産業の支援参加への充実感や達成感」、「活動を通した人との交流の楽しさ」、「集中した作業を行うことでの無心や清心の心地よさ」、「自分の未熟さや向上心への芽生え」などがありました。

東北工大大学祭「MAKE」にて展示販売会

10 月 12･13 日の東北工業大学大学祭『MAKE』では、本プロジェクト紹介、雄勝町や雄勝石産業のパネル紹介や雄勝硯や雄勝石食器などの展示を行い、来場者から感想やご意見をいただきました。雄勝石にディンプルアートをする箸置きづくり、雄勝の海産物店の出店も行いました。台風の近づく悪天候の中での開催となってしまいましたが、多くの高校生や大学生、御父母や近隣の方が来場され、雄勝石に触れて美しさや珍しさを話していました。海産物の売れ行きもよく、「なかなか雄勝には足を運べないからこの機会に」と購入される方もいました。なかには震災後、雄勝町を離れざるをえなかった御家族の参加もあり、小中学校時代の雄勝石産業との接点を懐かしく語っていました。

「GO SLOW CITY | スローなまちでいこう」

雄勝生活研究所主催の「スローなまちでいこう」発足イベントに本プロジェクトメンバーも参加し、雄勝町を歩きながら住民の方の話をきくこと、支援者同志の情報交換や意見交換を行いました。この企画では、昼食時に「おがつスターズ」の方々との交流もあり、浜料理の話から若者や域外の方たちとの食文化の違いや地元の魅力を知りました。さらに 10 月にも「おがつスターズ」や漁業関係者との交流を企画しています。

三井物産環境基金助成団体交流会に参加

本プロジェクトに助成いただいている三井物産環境基金の「三井物産環境基金助成団体交流会」が 9 月 25 日・26 日に仙台市青年文化センターで行われ、プロジェクトメンバー 6 名が参加いたしました。対話型セッション「環境の新しい発想を活かした取り組み」や「5 分間プレゼン」を聞いた後は分科会に参加しました。8 分科会の企画内容は、「持続可能性」「復興支援」「コミュニティ再生」など興味深いものが多く、各分科会に分かれて参加し内容を共有することとしました。

活動記録

2013

7/28 「GO SLOW CITY | スローなまちでいこう」発足記念イベント
7/28 義援金贈呈
7/30.31 雄勝資源調査
8/9 石巻市と東北工業大学との協定
8/17 河北新報記事掲載
（石巻・雄勝町中心部 地元海産物店 再建）
8/17 ～ 19 熊本「熊本伝統工芸館」・湯布院「アトリエとき工房」
などと打ち合わせ
8/18 河北新報記事掲載（イベント核に集客作戦）
8/21 西多賀寿大学（市民センターのサークル）にて
雄勝石にディンプルアートをする箸置きつくり体験
8/22・23 インターンシップ・資源調査・拠点整備打ち合わせ
（おがつ店こ屋街）
8/26 第 3 回雄勝いしのわプロジェクト実行委員会 （雄勝総合支所）
8/26 仮設拠点銘板設置のセレモニー開催
8/30 河北新報記事掲載（雄勝の伝統芸能 地元復興へ鼓舞）
9/1 雄勝資源調査
9/2 雄勝資源調査（ヒアリング調査）
9/2 河北新報記事掲載（郷土芸能 3 団体 住民鼓舞 石巻・雄勝）
9/7 河北新報記事掲載（被災文化遺産守ろう）
9/7・8 雄勝資源調査
9/20 仮設工房建設打ち合わせ
9/23 河北新報記事掲載（鎮魂願い伝統芸能躍動）
9/25・26 三井物産環境基金助成団体交流会
9/29 卸町 5 丁目仮設住宅集会所にてプロジェクトの紹介と
雄勝石ディンプルアートをする箸置きつくり体験
10/4 河北新報記事掲載（硯石食品プレートにグッドデザイン賞）

おがつ秋の芸祭「鼓舞」

10/8 みやぎ地場産品開発流通研究会会議
10/12・13 東北工業大学大学祭『MAKE』にてプロジェクトや石産業の
紹介，雄勝石にディンプルアートをする箸置きつくり体験，
雄勝の海産物店と協力し出店
10/16 河北新報記事掲載（豊かな海の幸ＰＲ）
10/17 ヒアリング調査
10/18 仙台城南高等学校のオブジェ 「J. プロジェクト 2013」除幕式
10/18 河北新報記事掲載（店舗外壁に雄勝産スレート）
10/20 宮城地域自治研究所の方々と復旧・復興について
現地視察調査
10/24 雄勝資源調査
10/25 雄勝資源調査と硯組合仮設工房に向けた機材類の調査
10/28 河北新報記事掲載（岩肌が生む奥深い風景）
10/30 河北新報記事掲載
（石巻で慶長使節船出帆 400 年祭 たどった国の料理堪能）
11/1 ～ 12.3 秋保木の家「手しごと館」にて
みやぎ地場産品開発流通研究会展示会開催
11/2 津山木工芸品事業協同組合の工場にて展示台の打ち合わせ
11/14 復興大学地域復興支援ワンストップサービス事業
「復興大学地域復興支援シンポジウム」にて
本プロジェクトを紹介
11/16・17 おがつ店こ屋街二周年祭の開催
11/16 河北新報記事掲載（石絵で雄勝に恩返し）
11/17 中原大学（台湾）からの留学生と
東北工大建築学科学生の被災地見学
11/25 「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの
再 生プロジェクト」ワーキング会議

東北工業大学

編集後記

今期は「スローなまちでいこう」や「三井物産環境基金助成団体交流会」など、雄勝支援する他団体や復興支援や環境保全等に取り組む団体と交流や意見交換する機会があり、どのような活動や支援が望まれているのかを考えさせられました。今後も他団体と連携し、情報交換や意見交換、ワークショップ開催など様々な活動を実施したいと思っております。そのためにも場づくりの第一歩、仮設工房建設開始が待ち遠しいです。 （齊藤 成一）

雄勝いしのわプロジェクト
～雄勝石産業を核とした場づくり、モノづくり、人づくり～

発行元：東北工業大学
ライフデザイン学部 安全安心生活デザイン学科

〒982-8588 宮城県仙台市太白区二ツ沢 6 番
TEL: 022-304-5592 FAX: 022-304-5591
MAIL: info@ogatsu-ishinowa.jp URL: http://ogatsu-ishinowa.jp/

＊本プロジェクトは「雄勝石産業の復活を核とした生産とくらしの再生」をテーマに
三井物産環境基金 2012 年度下半期活動助成（復興助成）の採択を受け活動を実施しています。